

みんなの健康ラジオ

『正しい眼鏡処方の話 その2』

(2019年9月26日放送)

横浜市眼科医会

横浜よつもと眼科

四元 修吾

働き世代とメガネについて

- IT社会の現代では、目の使い方も人それぞれです。
- その人の目的にあったメガネの処方には知識と経験が必要です。
- 不適切なメガネは慢性的な眼精疲労を生じることがあります。
- 視力低下が、緑内障などの進行性の病気を伴っていることがあります。統計上では40歳以上の20人に1人が緑内障の可能性があるとされています。
- 「見づらい」と感じたら、まず眼科を受診するのが望ましいと言えます。

シニア世代とメガネについて

- 目の加齢的な変化や、網膜の疾患によって視力低下を起こしやすい世代であり、メガネでは解決しないことが多い世代とも言えます。
- 具体的には、50歳を過ぎると白内障が始まります。また加齢黄斑変性といった網膜出血を伴う病気などが挙げられます。
- この世代においても、見づらさを感じたらまず眼科を受診していただきたいと思います。

最後に

- 人間の目というのは、日常の生活の身の回りから世の中のあらゆる風景を見るための最も大切な唯一の臓器と言えます
- しかし、自分の目の中をご自身で見ることはできませんので、見え方でお困りの際にはまずお近くの眼科で目の中の点検を受けていただきたいと思います。